

「源氏香 すかし香合」 純金で源氏香の図のデザインを身に描き、蓋には紅葉と桜の雲錦紋様を表現。源氏香の図のデザインで透かして、身の源氏香の図が煌めく趣向。

販売価格 250,000円(税抜)

「すかし桜づくしブローチ」 桜をデザインした透かしのブローチ。透かすことで軽やかで優しい桜の花のイメージにしました。

販売価格 各55,000円(税抜)

「竹仕様 花唐草ふたもの」 竹工とのコラボレーションの作品。直線的な竹と対峙させて蓋にはエレガントな花模様を上品な曲線で描きました。和洋を問わないデザインです。

販売価格 60,000円(税抜)

中嶋 龍司

1982年京都市生まれ。2002年祖父(京都府伝統産業優秀技術者)の下で修業。2008年「京もの認定工芸士」認定。現在金属工芸協同組合青年会に所属。2009年アメリカ・ニューヨークにて展示会に出品。フランス・パリにて実演販売。

〒616-8376
京都市右京区嵯峨天竜寺瀬戸川町10-3
(株)中嶋象嵌
TEL.075-871-2610
FAX.075-882-0525
HP <http://www.nakajima-zougan.jp/index.php>



京象嵌の優れた匠を祖父にもち、その仕事に憧れ、自分らしい作品への意欲を膨らませて技を磨いてきました。細やかでリズムミカルな線とその線の調和を何より意識し、かつてなかったような作品に挑戦しています。透かしの技を取り入れたもの、異素材や他の伝統技術とのコラボレーションでの創作など、斬新なデザインの中にも象嵌の真骨頂でもある優雅さを表現する感性を磨いていきたいです。

◆京もの認定工芸士とは：

京都の伝統工芸品(京もの)の製造に従事し、特に優れた技術をもった意欲ある若手職人に京都府知事から授与される称号。

透かしや他の技のコラボで
象嵌の可能性を探る



京もの認定工芸士 第19号

なかじま
りゅうじ
中嶋 龍司